

本日晴れの日を迎えた 本科百四十七名、専攻科十七名の皆さん、卒業・修了

誠におめでとうございます。長い間学生を支えて下さったご家族の皆様にも心からお慶び申し上げます。

ご多忙の中、ご列席頂いた後援会会長西浦様、同窓会会長横手様には、この喜びの時を共有出来ます事、深く感謝致します。

どんな時にも皆さんを支えてくださったご家族・先生方始め多くの皆様への感謝を胸に更なる夢の実現に向かって巣立って頂きたいと願います。

高専を卒業・修了していくことは並大抵の事ではありません。思い返せば自信を無くして本校を退学し、他の道へ進みたいと悩んだ時もあったのではないかと思います。葛藤しながらも前向きに努力を続け、卒業・修了にたどり着いた皆さんです。本当に良く頑張りました。自らに褒め言葉を贈り最大限の自己肯定をしてください。

本校で学んだ知識や技術は、専門的とは言え、あくまでもこれから学び働くための基礎知識です。変化と流れの速い社会では、更なる学びの継続と自分自身を磨き続ける意識が大切です。学んだ知識を知恵に変え、いつかは誰かの幸せのために働ける大きな心を持った自分を目指してください。

皆さんの最終年度はとても大変な1年でした。本式典もこの様な分散形式となりましたことお詫び致します。

世界中の人々が新型コロナウイルスに翻弄され、数多くの大切な命が奪われました。皆さんも行動が制限され、進路決定に対し様々なストレスを抱えながら動いていた事と思います。

我慢と工夫を重ね、真摯にチャレンジを続けてくれましたし

た。本校を巣立つこの年の大きな経験は、これから社会で学ぶ上で大事な財産になることでしょう。

普段は気づかない他者に対する思い遣りも学び、一緒に学んだ者同士の絆も深まったと思います。

コロナ禍はしばらく続きます。対策を万全に、新しい環境での皆さんの飛躍を願っています。

自己肯定と感謝を胸に、エンジニアとして誰かの幸せのために働ける自分を目指し、どうぞこれからも自分自身のところを磨き、学び続けてください。

令和三年三月十二日

阿南工業高等専門学校長

平山 けい